



校技大会・ラグビー(3月)

IBDPコース

ホームルーム・行事・部活

高校1年生では普通コース生と同じホームルーム(HR)に所属し、行事なども一緒に行います。授業は一部IB生だけの授業となります。高2・高3ではHRはIB生のみとなりますが、茗溪学園の学校文化でもある「文武両道」を追究し、行事や部活へ参加することも可能です。一方でIBDPコースではかなりの課題も課されますので、それらをこなした上での参加が前提となります。

学費について

月額学費は以下の通りです。
(諸経費を含む・教材費等は別)

	普通コース	IBDPコース
通学生	50,250円	95,900円
寮生	134,750円	180,400円

日本のIBDP校

2016年7月20日現在、茗溪学園は「一条校」(日本の高卒資格を出せる学校)としては日本で14校目のIBDP認定校、「日本語DP」採用校では5校目となります。

お問合せは

茗溪学園IB委員会
e-mail: ibdp@meikei.ac.jp
TEL: +81-29-851-6611
IBDPコーディネーター
松崎 秀彰

IBDPコースで学ぶには

茗溪学園は2016年7月20日にIBワールドスクールとしての認定を得ました。IBDPの資格を取得できる高校でのIBDPコースの定員は約20名(最大25名)ですので選抜を実施します。選抜は中学からの内部進学生と高校からの入学生に対しても実施します。

中学から

内部進学生の選抜は、中学2年の後期と中学3年前期の国語・数学・英語の通知表の評定、及び提出物の提出状況なども考慮に入れた上で、基準を満たした生徒を対象に英語のテスト(コンピューターによるテスト・エッセー・面接)と、IB教育への理解と意欲を確認する本人面接・保護者同伴面接などを経てIBDPコース受講者を決定します。

高校から

高校新入生の選抜は以下の通りです。詳細は募集要項をご確認ください。

入試名称	海外生特別選抜	高校一般入試
区分	専願のみ(入学金延納制度等はありません)	
募集人数	若干名	
出願期間	9月16日(金)10:00 ~10月21日(金)22:00	1月11日(水)10:00 ~1月20日(金)22:00
試験日	11月19日(土)	1月28日(土)
試験会場	香港・上海・シンガポール・ バンコク・ロンドン・シカゴ	茗溪学園
筆記試験	国語・数学・英語(各50分・問題はB方式に準じる)	
面接試験	本人面接+保護者同伴面接	
合格発表	11月25日(金)10:00	1月30日(月)11:00
入学手続	11月26日(土)16:00まで	1月31日(火)16:00まで
オリエンテーション	3月14日(火)13:00~15:00	

01

2016年 8月

茗溪学園高等学校普通科IBDPコースのご案内



目次

茗溪学園と国際バカロレア P.1

カリキュラムの特徴 P.2

開設科目について P.3

IBDPコース入試について P.4

国際バカロレアの使命 IB Mission Statement

国際バカロレア機構
『国際バカロレア(IB)の教育とは?』
2014年6月 より

「国際バカロレア (IB) は、多様な文化の理解と尊重の精神を通じて、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する、探究心、知識、思いやりに富んだ若者の育成を目的としています。

この目的のため、IBは、学校や政府、国際機関と協力しながら、チャレンジに満ちた国際教育プログラムと厳格な評価の仕組みの開発に取り組んでいます。

IBのプログラムは、世界各地で学ぶ児童生徒に、人がもつ違いを違いとして理解し、自分と異なる考えの人々にもそれぞれの正しさがあり得ると認めることのできる人として、積極的に、そして共感する心をもって生涯にわたって学び続けるよう働きかけています。」

2017年4月、茗溪学園にIBDPコースが誕生します。



教育実験校・茗溪学園の使命

茗溪学園の創設は1979年、学力偏重の中等教育批判に応える取り組みをする教育実験校として、筑波大学の同窓会「茗溪会」によって創設されました。学習に加えて多くの行事や本物に触れる体験をカリキュラムにふんだんに盛り込み、何かに挑戦しようという強い意欲と自信を持った生徒を数多く育ててきました。

建学の理念にもある通り、知・徳・体の調和した人格の形成を図りつつ創造的思考力を伸ばす中で、生徒達は国境も言語も価値観も越えられるような様々な力を身につけていきます。そして歴史や伝統から学びつつも、意欲的かつ大胆に新たなことに挑戦することで社会や世界に貢献し、自己や世界の未来を切り拓いていくことのできる人材を育てていくことが茗溪学園の使命です。

茗溪学園と国際バカロレア

茗溪学園はIB教育の先駆的存在であるUnited World College (UWC) に、これまで50名を超える生徒を奨学留学生として送り出してきました。その経験からもIB教育と茗溪学園の教育の親和性の高さは認識されていました。探究型のプログラム、科目横断型の行事やプロジェクト、「個人課題研究」などがその一例です。日本の教育、茗溪の教育、IBの教育、これら各々の長所を融合するという新たな挑戦に向けて茗溪学園は進んでいきます。志を持って自分を変えたいという挑戦者の気概を持つ皆さんを大いに歓迎いたします。

【UWCは、世界各国から高校生を選抜し、教育を通じて国際感覚豊かな人材を養成する国際的な民間教育機関で、世界15か国に展開されています。】



IBの学習者像

国際バカロレア機構
『国際バカロレア (IB) の教育とは?』より

「IBの学習者像」は、IBワールドスクール (IB認定校) が価値を置く人間性を10の人物像として表しています。こうした人物像は、個人や集団が地域社会や国、そしてグローバルなコミュニティの責任ある一員となることに資すると私たちは信じています。

探究する人 Inquirers

私たちは、好奇心を育み、探究し研究するスキルを身につけます。ひとりで学んだり、他の人々と共に学んだりします。熱意をもって学び、学ぶ喜びを生涯を通じてもち続けます。

知識のある人 Knowledgeable

私たちは、概念的な理解を深めて活用し、幅広い分野の知識を探究します。地域社会やグローバル社会における重要な課題や考えに取り組みます。

考える人 Thinkers

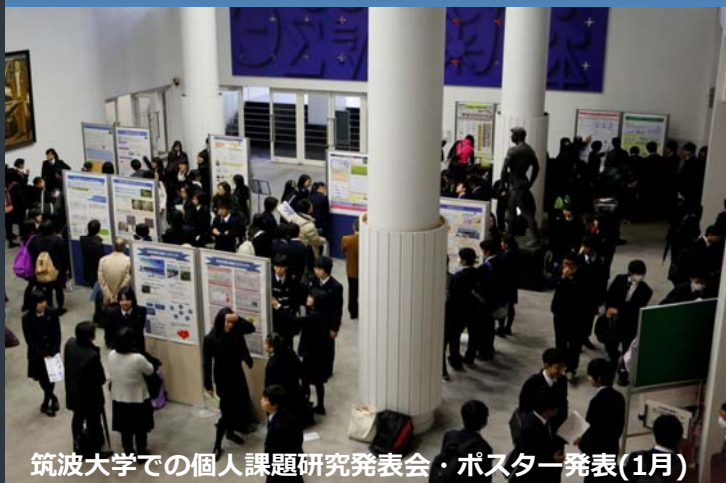
私たちは、複雑な問題を分析し、責任ある行動をとるために、批判的かつ創造的に考えるスキルを活用します。率先して理性的で倫理的な判断を下します。

コミュニケーションができる人

私たちは、複数の言語やさまざまな方法を用いて、自信をもって創造的に自分自身を表現します。他の人々や他の集団のものの見方に注意深く耳を傾け、効果的に協力し合います。

信念をもつ人 Principled

私たちは、誠実かつ正直に、公正な考えと強い正義感をもって行動します。そして、あらゆる人々がもつ尊厳と権利を尊重して行動します。私たちは、自分自身の行動とそれに伴う結果に責任をもちます。



筑波大学での個人課題研究発表会・ポスター発表(1月)

IBDPコースの カリキュラム

高校1年生では日本の高校教育課程を中心に、高校2・3年生ではIBDP科目を中心に履修。日本の高校卒業資格とIBDP資格を取得します。

国際バカロレア・ディプロマプログラムとは (IB機構「IBの教育とは?」より)

ディプロマプログラム (DP) は大学入学前の生徒を対象とした、幅広い分野を学習する2年間のプログラムで、知識豊かで探究心に富み、思いやりと共感する力のある人間を育成することを目的としています。また、多様な文化の理解と開かれた心の育成に力を入れており、さまざまな視点を尊重し、評価するために必要な態度を育むことを目指しています。

国際バカロレア・ディプロマ プログラム・プログラムモデル

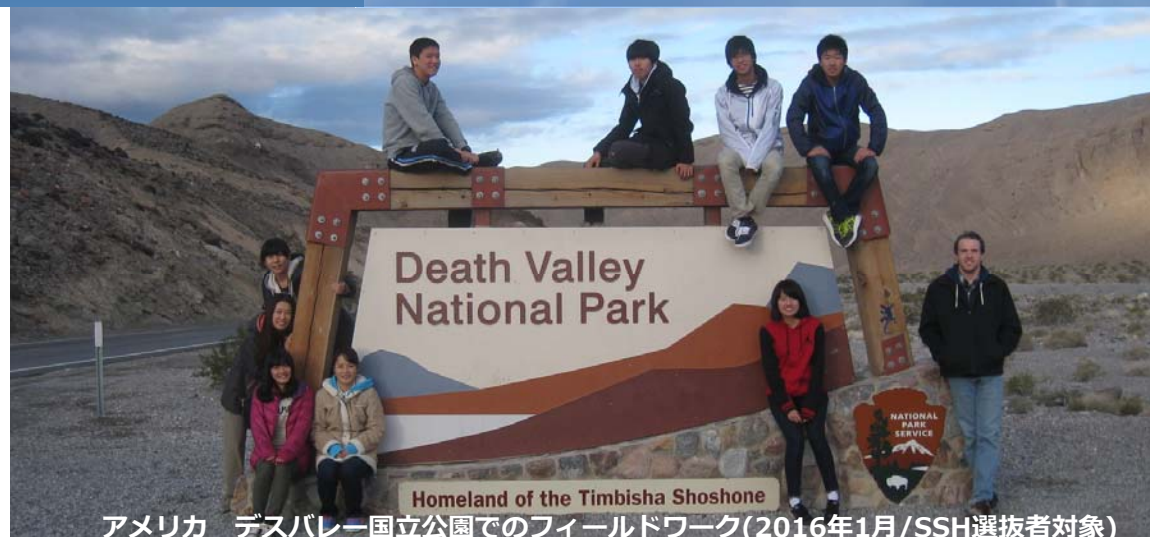
右の同心円状の図は、IBDPのカリキュラムを表したものです。中心には学習者がいて、10の「学習者像」が示されています。次に「学習の方法」と「指導の方法」が示され、その外側には6つの科目群とそれを横断する形で3つのコア科目(知の理論、課題論文、創造性・活動・奉仕)がデザインされています。

生徒達は6つの科目群(Group)から1科目ずつ選択し、さらにコア科目も受講する中で、幅広い学習分野を同時に並行して学んでいきます。

IBの「学習の方法」と「指導の方法」

「学習の方法」と「指導の方法」には、IB教育を支える重要な価値感と原則が含まれていて、学習方略やスキル、態度として、指導や学習の場に活かされます。

学習の方法	①思考スキル	②社会性スキル	③コミュニケーションスキル
	④自己管理スキル	⑤リサーチスキル	
指導の方法	①探究を基盤とした指導	②概念に重点を置く指導	
	③文脈化された指導	④協働に基づく指導	
	⑤生徒の多様性に応じて差別化した指導	⑥評価を取り入れた指導	



アメリカ デスバレー国立公園でのフィールドワーク(2016年1月/SSH選抜者対象)

IBDP開設科目一覧

Group 1 言語と文学	日本語A文学(SL/HL)
Group 2 言語の習得	English B(SL/HL)
Group 3 個人と社会	歴史(SL/HL) Environmental Systems and Societies(SL)
Group 4 理科	物理(SL/HL) 生物(SL/HL) Environmental Systems and Societies(SL)
Group 5 数学	数学(SL/HL)
Group 6 芸術	Film(SL/HL) 化学(SL/HL)
コア科目	知の理論 課題論文 創造性・活動・奉仕

- ※1 日本語表記の科目は日本語で開講、英語表記の科目は英語で開講、英語科目は2科目以上受講。
- ※2 SLは標準レベル(週3コマ)、HLは発展レベル(週5コマ)。SLを3科目、HLを3科目受講。
- ※3 Environmental Systems and Societies(環境システムと社会)は、Group3とGroup4両方での受講は不可。
- ※4 課題論文は8,000字(英語の場合は4,000語)の論文を執筆。
- ※5 高校1年生では日本の高校卒業資格を満たすための必修科目を受講。一部はpre-IB科目授業。高校2年生ではIB科目に加えて、体育(3)・理科(2)を受講予定。高校3年生ではIB科目に加えて、体育(2)・保健(1)・情報(1)を受講予定。

進路は日本へ、世界へ

日本の大学でも「IB入試」は広がりつつあり、出願要件などは大学ごとに多少異なりますが、多くの大学でAO入試等の出願資格の一つとしてもIBDP資格が募集要項に明記されてきています。その際、国際バカロレアのスコアとともに、必要に応じ、小論文、面接などを総合して選抜を行っている例も見られます。

またIBDP資格は、世界では100ヶ国以上、20,000校以上の大学で入学資格や受験資格として認められており、世界の大学で学びたい人にとっては大きな武器となることでしょう。またIBDPでの学び方はそのまま海外の大学でも通用する学び方となりますので、IBDPコースの授業やプログラムを履修していく中で海外の大学で学ぶ自信も育てていくことができるでしょう。



心を開く人 Open-minded

私たちは、自己の文化と個人的な経験の真価を正しく受け止めると同時に、他の人々の価値観や伝統の真価もまた正しく受け止めます。多様な視点を求め、価値を見だし、その経験を糧に成長しようと努めます。

思いやりのある人 Caring

私たちは、思いやりと共感、そして尊重の精神を示します。人の役に立ち、他の人々の生活や私たちを取り巻く世界を良くするために行動します。

挑戦する人 Risk-takers

私たちは、不確実な事態に対し、熟慮と決断力をもって向き合います。ひとりで、または協力して新しい考えや方法を探究します。挑戦と変化に機知に富んだ方法で快活に取り組みます。

バランスのとれた人 Balanced

私たちは、自分自身や他の人々の幸福にとって、私たちの生を構成する知性、身体、心のバランスをとることが大切だと理解しています。また、私たちが他の人々や、私たちが住むこの世界と相互に依存していることを認識しています。

振り返りができる人 Reflective

私たちは、世界について、そして自分の考えや経験について、深く考察します。自分自身の学びと成長を促すため、自分の長所と短所を理解するよう努めます。

